

令和3年度一般社団法人大学コンソーシアム熊本社員総会（通常総会）議事録

- 1 開催日時 令和3年5月31日(月)14時00分～15時25分
- 2 開催場所 ホテルメルパルク熊本 2階 白川
- 3 出席者
正会員
九州ルーテル学院大学 学長 広渡 純子
熊本学園大学 学長 細江 守紀
熊本県立技術短期大学校 校長 尾原 祐三
熊本県立大学 学長 半藤 英明
熊本高等専門学校 校長 荒木 啓二郎
熊本大学 学長 小川 久雄
熊本保健科学大学 学長 竹屋 元裕
尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長 山縣 ゆり子
崇城大学 学長 中山 峰男
東海大学九州キャンパス 九州キャンパス長 荒木 朋洋
平成音楽大学 学長 出田 敬三
- 4 委任状（議決権行使）による代理人出席者
正会員
熊本県 政策審議監 厚地 昭仁
- 5 書面による議決権行使者
正会員
九州看護福祉大学 学長 志賀 潔
熊本市 市長 大西 一史
- 6 欠席者
正会員
中九州短期大学 学長 中川 静也
- 7 上記以外の出席者
企画・運営委員長 甲斐 広文
熊本県企画振興部情報政策課長（報告事項第2号説明者） 臼井 洋介
事務局長（議事録作成に係る職務を行った者） 松村 健史
事務局次長（議事録作成に係る職務を行った者） 野口 正明

8 開会

1) 開会

事務局より、本日の社員総会へ正会員15名のうち、代理人による議決権の行使及び書面による議決権行使を含めて14名の出席により、定款第17条に定める社員総会開催に必要な総正会員現在数の議決権の過半数、定足数を満たし、社員総会が成立したことを宣言した。

次いで、議長より新型コロナウイルス感染症対策として、今回は賛助会員、協賛会員はお招

きせず、改めて意見を聴く機会は別途検討したい旨付言があった。

2) 議事録署名人の選任

議事録署名人に、議長の半藤熊本県立大学長の他、熊本大学の小川学長及び熊本保健科学大学の竹屋学長が選任された。

9 議 事

第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算について

事務局より、定款第39条の規定に従い作成した令和2年度事業報告書に基づき、令和2年度に開催した社員総会、理事会等の会議の概要及び企画・運営委員会、学生教育部会、国際交流部会、地域創造部会、教員免許状更新講習・教員養成等事業部会が実施した事業の概要等の説明があった。

引き続き、「公益法人会計基準」に従い、定款第39条に定める収支決算に関する書類の貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、附属明細書、財産目録等を作成したことの報告及び収支決算に係る書類の概要説明があった。

また、広渡監事より、定款第39条に定める監事監査は広渡監事が理事の職務執行分野、荒木監事が経理分野を中心に行い、事業報告及び決算に係る書類については協力して監査を行い、監査報告書を作成したこと及び監査結果の報告があった。

この後、外国人留学生へのアンケート結果に関連してコロナ禍での困窮留学生への支援状況と、管理運営費の執行にかかる質疑があった。

審議の結果、異議なく原案どおり承認された。

第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算について

事務局より、定款第38条の規定に従い作成した令和3年度事業計画及び予算額(案)に基づき、令和3年度に企画・運営委員会、学生教育部会、国際交流部会、地域創造部会、教員免許状更新講習・教員養成等事業部会が企画している事業及び予算要求の概要等について説明があった。

引き続き、収支予算書(収支)案、収支予算書(正味)案、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に基づき、予算措置の概要説明があった。

審議の結果、異議なく原案どおり承認された。

第3号議案 役員改選について

議長より、定款第24条に規定する役員の任期満了に伴う役員の選任について、定款第21条の第3項の規定による役員人事の名簿(案)の提案があった。

審議の結果、理事に中山峰男氏(崇城大学長)、半藤英明氏(熊本県立大学長)の2名が重任され、小川久雄氏(熊本大学長)、竹屋元裕氏(熊本保健科学大学長)、細江守紀氏(熊本学園大学長)、甲斐広文氏(熊本大学副学長)の4名が選任された。監事には、山縣ゆり子氏(尚綱大学・尚綱大学短期大学部学長)、尾原祐三氏(熊本県立技術短期大学校長)の2名が選任された。

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

第4号議案 令和2年度「大学コンソーシアム熊本中期計画」の評価について

事務局より、令和2年度「大学コンソーシアム熊本中期計画」の評価については、各事業部会、企画・運営委員会、第30回理事会、第31回理事会で検証及び承認を得ているが当社員総会において自己点検評価表の基づき最終的な検証及び評価を行う

ものであることの説明があった。

審議の結果、令和2年度「大学コンソーシアム熊本中期計画」の評価結果について承認された。

第5号議案 私立大学等改革総合支援事業の申請について

事務局より、私立大学等改革総合支援事業については令和3年度も文科省において予算化されているが、大学コンソーシアム熊本においても平成30年度より作業部会を作り、各私立大学で申請している同支援事業のタイプ3「地域社会への貢献」（プラットフォーム形成を通じた大学改革の推進を支援するもの）について、令和3年度も作業部会を設置して、申請が可能な私立大学の後押しを行いたいので、関係校の協力をお願いしたいとの説明があった。

審議の結果、異議なく承認された。

10 報告事項

第1号 部会・委員会名簿について

事務局より、令和3年度大学コンソーシアム熊本会員名簿に基づき、部会・委員会等の委員名及び大学コンソーシアム熊本事務局構成について報告があった。

第2号 その他

D X（デジタルトランスフォーメーション）熊本創生会議について

熊本県より、D X（デジタルトランスフォーメーション）熊本創生会議について、説明があった。

11 閉 会

議長より、閉会が宣言された。

この議事録が正確であることを証するため、議長（代表理事）及び議事録署名人は、署名押印する。

令和3年5月31日

令和3年度一般社団法人大学コンソーシアム熊本社員総会

議長（代表理事） 半 藤 英 明

議事録署名人 小 川 久 雄

議事録署名人 竹 屋 元 裕